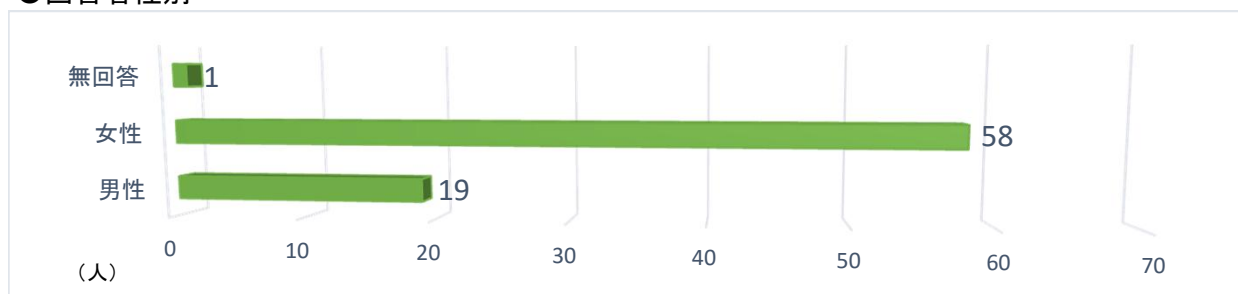


平成28年度「第3回 在宅医療・介護連携 多職種連携研修会」アンケート結果
開催日：平成29年2月15日(水)

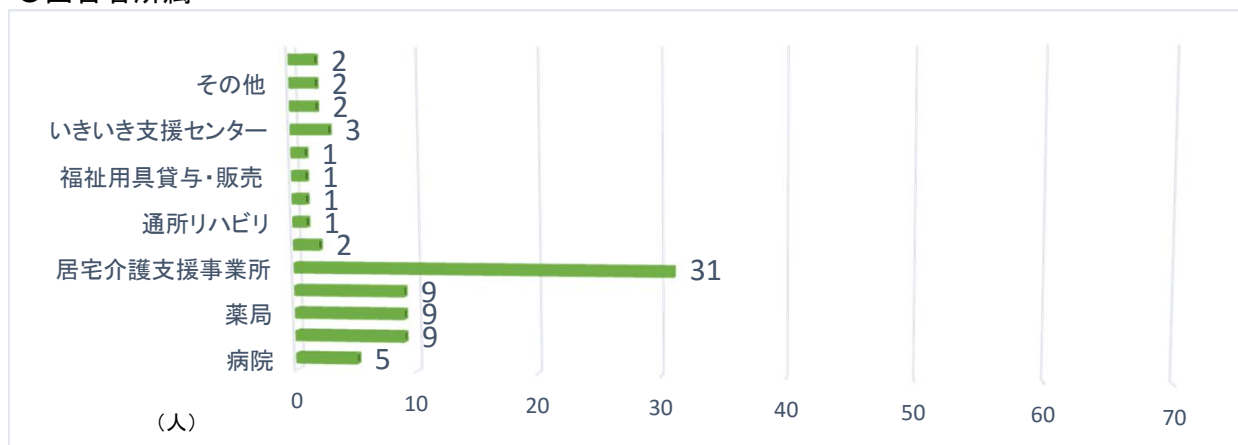
◎参加者：106名（うち、アンケート回答者78名 [回収率：74%]）

[参加者内訳] 病院・診療所（医師13名、看護師・保健師8名、事務1名）
調剤薬局（薬剤師6名、薬学実習生4名）
訪問看護（看護師12名、作業療法士1名）
居宅介護支援（介護支援専門員32名）、訪問介護事業所（3名）
通所介護事業所（2名）、福祉用具（1名）
施設（看護師・理学療法士・支援相談員4名）、その他（6名）
その他（就労支援センター1名、鍼灸2名、薬品会社3名）
行政等（瑞穂区役所5名、瑞穂保健所1名、いきいき支援センター7名）

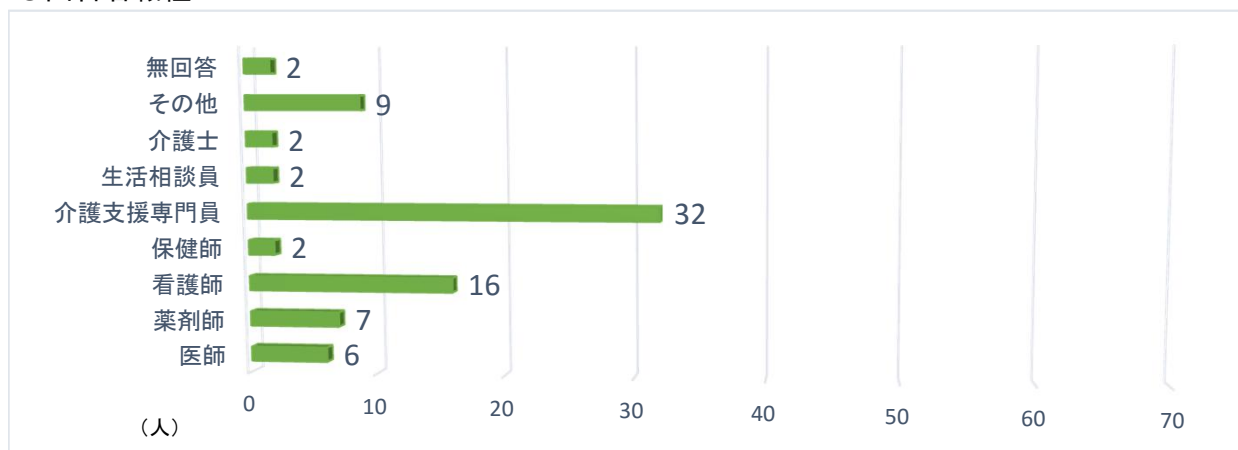
●回答者性別



●回答者所属



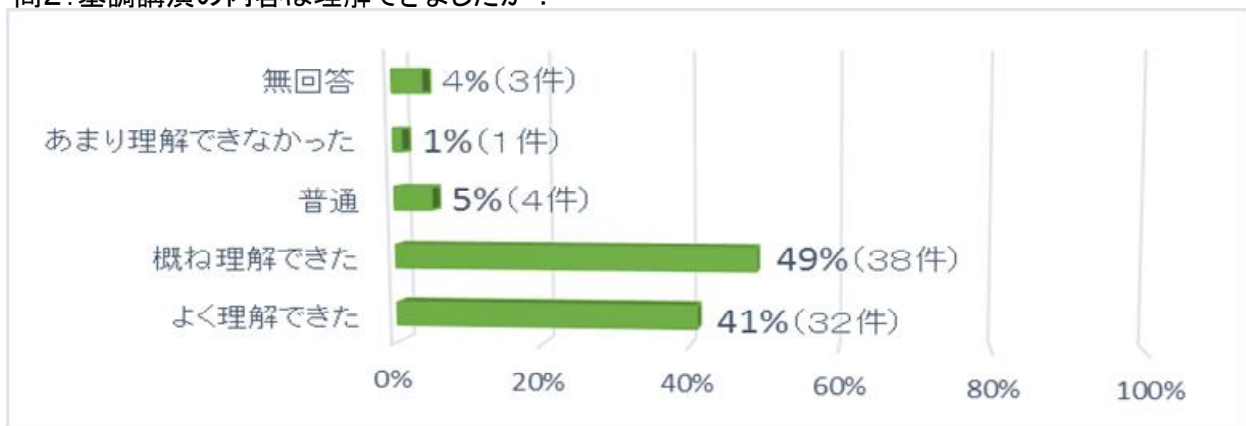
●回答者職種



問1: 本日の研修内容は満足できましたか？ (自由記載もあり)

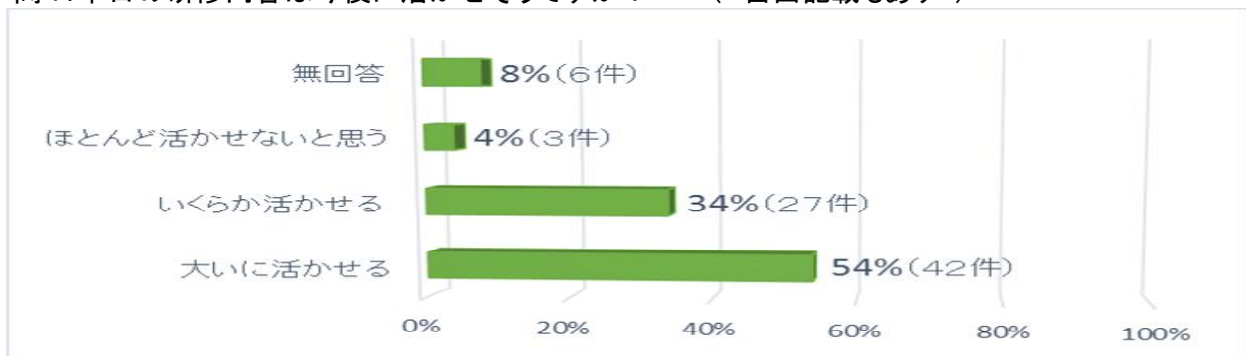


問2: 基調講演の内容は理解できましたか？



問3: もっと学びたいと思った内容をご記入ください。 (自由記載あり)

問4: 本日の研修内容は今後に活かそうですか？ (自由記載もあり)



問5: 共通認識できる機会となりましたか？



平成28年度「第3回 在宅医療・介護連携 多職種連携研修会」アンケート結果

問1. 本日の研修内容は満足できましたか？

- ・座長、野々村先生の仕切りが素晴らしかった。(ケアマネ)
- ・非常にわかりやすく、痛みの基礎がとてもよく理解でき学びが多かった。(看護師・ケアマネ)
- ・様々な医療機関の医師、薬剤師の具体的な意見を聞くことができよかった。(ケアマネ・薬学実習生)
- ・オピオイドについて知識の整理に繋がってよかった。(ケアマネ)
- ・日頃から疑問に思っていたことが少し解消できた。(薬剤師)
- ・活発な意見を聞くことができ先生方の思いが伝わってきた。(ケアマネ)
- ・在宅医療に関わる者として、疼痛コントロールの重要性を再確認できた。(病院事務職)
- ・痛み軽減の医療的処置が聞いて学べてよかった。(ケアマネ)
- ・疼痛コントロールができれば笑顔がみられることに繋がるとよくわかった。(看護師)
- ・治療に携る医師の死生観や告知についての考えを聴くことができよかった。(看護師)
- ・非常に興味のある内容だったが、薬剤師の話が大き過ぎたように思う。(福祉用具・看護師)
- ・もう少し事例があると、もっと解りやすかった。(薬剤師)
- ・在宅でも疼痛対策が多種多様になっている等、理解できた。(看護師)
- ・家田先生の話がとても解り易かった。(ケアマネ)
- ・痛みにどのような処置をしているのか知らなかったので勉強になった。(ケアマネ)
- ・痛みのスケールや、在宅と入院の判断についてが、すっきり整理されてよかった。(保健師)

<よく理解できた・概ね理解できた>

- ・すべての職種スタッフが理解すべき、共通言語が確認できた。(看護師)
- ・専門用語で一部解り難い部分はあったが、資料を基に掘り下げお話し頂けてよかった。(ケアマネ)
- ・基本的な内容から、解りやすく話頂けてよかった。(ケアマネ・薬学実習生)
- ・少し専門的過ぎて難解に感じた。話が早くあつという間に終わってしまった。(ケアマネ)
- ・講演だけでなくディスカッションの時間もあり、様々な見解を知る機会となった。(ケアマネ)
- ・痛みの仕組みがわかり、在宅での対応に役立てられそう。(ケアマネ)
- ・まずは安心していただくことが大切と実感した。(ケアマネ)
- ・療養者家族からの話もあるとよい。(保健師)
- ・がん性疼痛のある方への観察点など具体的に学ぶ機会になった。(ケアマネ)
- ・説明やスライドがとても解りやすく、座長のコメント等から更に理解が深まった。(看護師)

<普通>

- ・難しい医療用語があった。(ケアマネ)

問3. もっと学びたいと思った内容をご記入ください。

<医師>

- ・PCA、神経ブロックについて、手技はもちろんですが在宅での管理をどうすればよいか知りたい。
- ・他の職種の方々が、日頃の診察のなかで医師から、どんな情報がほしいのか、もっと医師以外の人のコメントも聞きたかった。
- ・非がん性疼痛、神経ブロックの方法と適応疾患、認知行動療法

<薬剤師・薬学実習生>

- ・非がん性疼痛に対する対応、痛みの種類と感じ方・それぞれへの対応、非薬物療法の方法
- ・薬剤師としてできること、在宅での実態をもっと知りたい。

<看護師・保健師>

- ・時間が限られ話が聞けなかった、ステロイドの導入時期などについても講演いただきたい。
- ・下行抑制系に働きかける方法論、エビデンスがなくとも手段(アロマ・足浴・・・)、薬物療法以外の疼痛コントロール
- ・看護師としては在宅での実際なども含めて、もっと詳しく知りたい。
- ・癌になっても不安が少なく過ごせた事例、個別性は大きいと思うがケース事例で治療・緩和の実際

<ケアマネ>

- ・ガン末期の方を支援する際のケアマネの具体的役割。
- ・疼痛や看取りの実際のケース事例と問題など。
- ・慢性疼痛、非がん性疼痛を抱える方への心的サポート。
- ・外来でがん治療を行っている方に対する医療・介護の連携方法。
- ・今回のように区内の入院病床のある病院関係者の方との情報共有。
- ・医療職以外の者ができること、具体的にどう寄り添うのかなど。
- ・精神科の専門医や臨床心理士の話。

<訪問鍼灸>

- ・鍼灸の痛みに対する緩和をどう考えるか聞いてみたかった。

問4. 本日の研修内容は今後に活かそうですか？

<大いに活かせる>

- ・慢性疼痛. がん性疼痛の在宅患者はとて多く、研修で得た内容を活用できそう。(医師)
- ・がん性疼痛だけでなく神経難病や慢性疼痛についても問題があると感じた。(薬剤師)
- ・レスキュー使用上での不安のとり方、副作用と絡めて確り説明できそう。(薬剤師)
- ・在宅支援を行う際の心がけを学べた。(薬学実習生)
- ・下行抑制系への働きかけで疼痛コントロールに繋がると知り、私達にも十分出来ることがある実感。(看護師)
- ・療養者. 家族にも今までと違った声かけが自信をもってできそう。(看護師)
- ・精神的な配慮. ケアに努めていきたい。(その他職)
- ・薬理作用と共におこる副作用への対応配慮について学びが深かった。(その他職)
- ・高齢者はほとんどの人が何らかの痛みを抱えているため参考になった。(ケアマネ)
- ・これから骨転移のある方を担当する予定. 前立腺がん末期の方を担当しているため参考になった。(ケアマネ)
- ・マネジメントの際、疼痛に対する視点や、その方の生活・生命に対する目標を立てる際に活かそう。(ケアマネ)
- ・自分なりの立場で見つけ、利用者に寄り添い支援したい。事業所で学びを共有したい。(ケアマネ)
- ・多様な種類の痛みがあるが、痛みのコントロールができれば在宅で終末を迎えられる気がする。(ケアマネ)

<いくらか活かせる>

- ・がん性疼痛の方から依頼があっても受け入れられるかも知れないという気になった。(薬剤師)
- ・現在、対象となる方がいない。現在の事業所マンパワーではこのような方の対応ができそうにない。(看護師)
- ・参考になったが、今はがん終末期患者を担当する機会が少ない。(ケアマネ)
- ・疼痛コントロール良好な骨転移療養者を支援しているため今後の病状変化に学びを役立てられそう。(ケアマネ)
- ・医師も疼痛緩和に不安を取り除くことが大事と聞き非常に心強かった。(ケアマネ)
- ・がん終末期療養者の対応が増えているため、疼痛管理・薬について学べてよかった。(ケアマネ)
- ・基本的な知識として得ておくことで、相談があった際に助言できてよい。(保健師)
- ・痛みの原因を見極めるアセスメントが今の立場で活かそう。(その他職)
- ・心のこもった対応で不安を取り除いていくことは、今まででもこれからもできそう。(ケアマネ)
- ・盛り沢山の内容で、記憶にとどめておけるかが不安。(ケアマネ)

今回の研修に対する意見

- ・病院で緩和医療ケアの普及. 緩和ケアチームの立ち上げに関わってきました。多くの方の意見を伺って、地域ではまだまだ情報や知識が浸透していないと感じ、同時に在宅介護に多職種で関わることの難しさを感じた。(薬剤師)
- ・在宅訪問の際に薬剤師としてやるべきことの範囲に悩まされますが、今回の研修で医師の気づけなかったこと、知りたいことについて理解できた。(薬剤師)
- ・告知については、法律が入ると難しくなります。離婚調停中と知らなかった夫婦に、夫に内緒で妻に予後不良を伝えるところ、夫の弁護士から本人の同意なく他人に情報を伝えてはいけなかったと言われた。どのようにしたらよい？(医師)
- ・総合病院からは重篤でも比較早く退院してくるので、このような研修で知識や現状の共有ができ有意義。(ケアマネ)
- ・痛みに関する基礎が学べ参加してよかった。(その他職)
- ・不安を取り除くことは端的だが、最も難しいことだと感じた。(その他職)
- ・緩和ケア病棟の入棟基準があると知り、緊急時の受け入れ先課題が大と感じた。(その他職)
- ・配慮が大切であることを改めて思い知らされる研修で参加してよかった。(ケアマネ)
- ・資料の数々が今後も活用でき大変うれしく思う。(その他職)
- ・最期まで働きたいと願われる方の支援にも役立てていきたい。(その他職)
- ・在宅看取りを選択される方は本人や家族の思いが強い場合が多いように感じ、1人1人状況は異なり日々これでよかったかと考えることも多い。担当医が感じた振り返り事例が聞けると、私たちにとっても振り返りになる。(看護師)
- ・在宅の現実問題点などを導き出し、病院と在宅の連携ポイントや重要性を病院側から考えて下さることに感銘。参加し大変よかった。今後もこのような企画をぜひ期待したい。(ケアマネ)
- ・多くの職種が参加して意見交換できる場は、とても貴重。交流できる機会もあつたら、なお良い。(ケアマネ)
- ・環境整備で痛みへの影響は変わると思う。(福祉用具貸与)
- ・独居でもよい最期を迎えられるよう、まずは他の職種をしるところから始めたい。(職種無記名)
- ・マイク調整は念入りをお願いしたい。(各職種)
- ・福祉系のケアマネは医療知識に疎いので、このような研修は大変勉強になる。医師と訪看、医師同士の質疑などを聞くだけでも興味深いため、今後も様々な切り口で続けてほしい。(ケアマネ)
- ・介護職の方にはやや難しい用語があったと思うが、知識を積み重ねることで互いの共通認識が深まると思う。今後もこのような形での研修で、多職種のよい関係が築ければと思う。(保健師)

<今後の研修に対する意見>

- ・レスパイトや連携システムについて。(医師)
- ・携わった専門職での振り返り事例。(看護師・ケアマネ)